

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

# さわやか景況レポート

(2020年4月～6月期)



さわやかビジネスマッチングセンター

## 目次

景況DIレポート	・・・1
製造業	・・・2
卸売業	・・・3
小売業	・・・4
サービス業	・・・5
建設業	・・・6
不動産業	・・・7
特別調査	・・・8
各種統計指数	・・・9

第50号 2020年8月

 さわやか信用金庫

# 景況DIレポート

2020年4～6月期（第1四半期）NO.50

## 調査方法について

製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。

当金庫職員が、お取引先にご協力いただき聞き取り調査を実施しています。

2020年度第1四半期を2019年度第4四半期と比較した実績と、

2020年度第2四半期を比較した見通しを調査したものです。

調査依頼先数は561先で、回答をいただいた先は553先です。

特別調査では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

## 調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	88	17	130	34	16	22	307
5～9	51	11	13	12	14	2	103
10～19	35	6	10	12	8	2	73
20～29	15	1	2	3	3	0	24
30～49	10	1	1	3	3	0	18
50～99	11	2	0	3	2	0	18
100以上	8	1	0	0	1	0	10
計	218	39	156	67	47	26	553

## DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40% - 30%」= 10ポイントとなります。調査結果は、DIに季節調整を行って表しています。

## 季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、「ビールは夏に売れる」「ボーナス時期には消費が増加する」等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

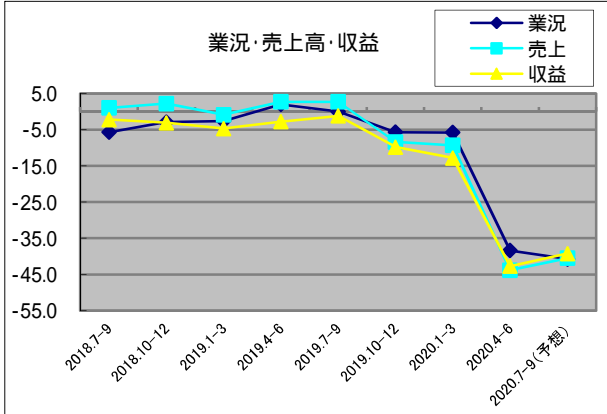
## 今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	-38.4	-54.9	-57.3	-60.2	-22.9	-31.9	-45.9
売上	-43.8	-61.2	-58.3	-67.0	-35.2	-39.2	-51.0
収益	-42.7	-58.3	-58.4	-65.5	-34.3	-42.8	-50.3

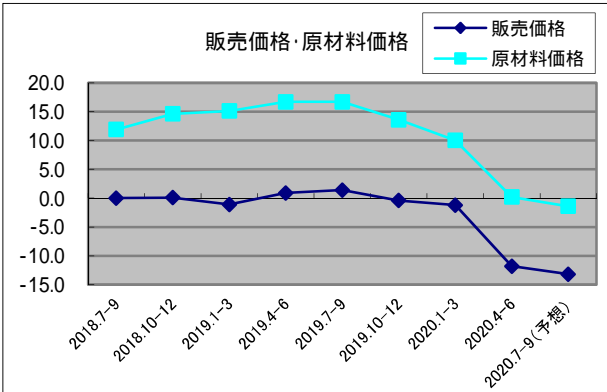
## 今期のコメント

製造業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化
卸売業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化
小売業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化
サービス業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化
建設業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化
不動産業	業況・売上・収益ともに大幅に悪化

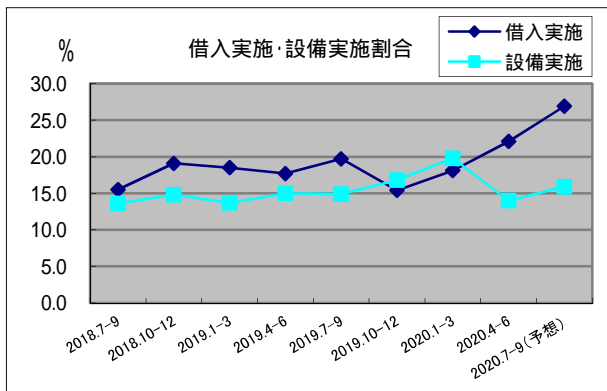
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	-5.7	-2.9	-2.6	2.0	0.0	-5.7	-5.8	-38.4	-40.7
売上	1.0	2.2	-0.9	2.7	2.7	-8.4	-9.3	-43.8	-40.5
収益	-2.2	-3.1	-4.7	-2.8	-1.2	-9.8	-12.8	-42.7	-39.2
販売価格	0.0	0.1	-1.1	0.9	1.4	-0.4	-1.2	-11.8	-13.2
原材料価格	11.9	14.6	15.1	16.7	16.7	13.6	10.0	0.2	-1.4
借入実施	15.5	19.1	18.5	17.7	19.7	15.4	18.1	22.1	26.9
設備実施	13.6	14.8	13.7	15.0	14.9	16.8	19.8	14.0	15.9



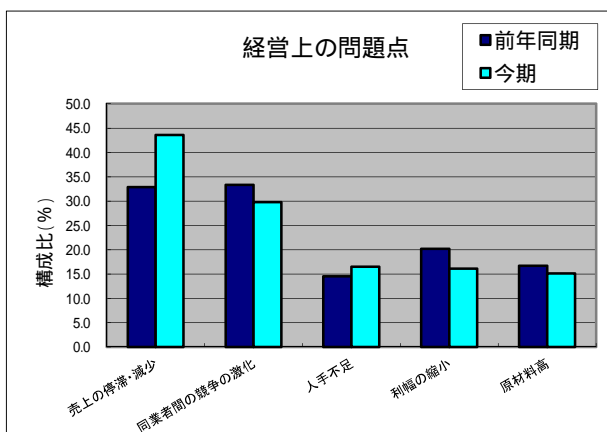
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、38.4となり、対前年同期比では40.4ポイント悪化、前期比でも32.6ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については43.8と、対前年同期比では46.5ポイント悪化、前期比でも34.5ポイント悪化している。収益DI(増加 - 減少)については42.7と、対前年同期比では39.9ポイント悪化、前期比でも29.9ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに悪化した。来期は、業況は引続き悪化、売上・収益はやや向上くと予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、11.8と対前年同期比で12.7ポイント減少し、前期比でも10.6ポイント減少した。今期の原材料価格DI(上昇 - 下降)は、0.2と対前年同期比で16.5ポイント減少し、前期比でも9.8ポイント減少した。販売価格、原材料価格ともに減少した。来期については、販売価格・原材料価格ともに引続き減少すると予想している。



今期の借入実施の割合は、22.1%と前期比4.0%増加。設備実施の割合については、14.0%と前期比5.8%減少。借入実施は増加するも、設備実施は減少した。来期については、借入実施の割合は26.9%、設備実施については15.9%と、借入実施、設備実施の割合ともに増加すると予想している。



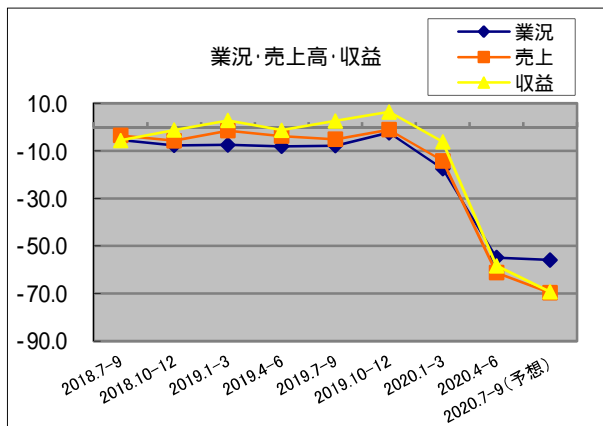
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期32.9%、今期43.6%となっている。第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期33.3%、今期は29.8%となっている。第3位は「人手不足」である。前年同期14.5%、今期16.5%となっている。第4位は「利幅の縮小」である。前年同期20.2%、今期16.1%となっている。第5位は「原材料高」である。前年同期16.7%、今期15.1%となっている。

# 卸売業

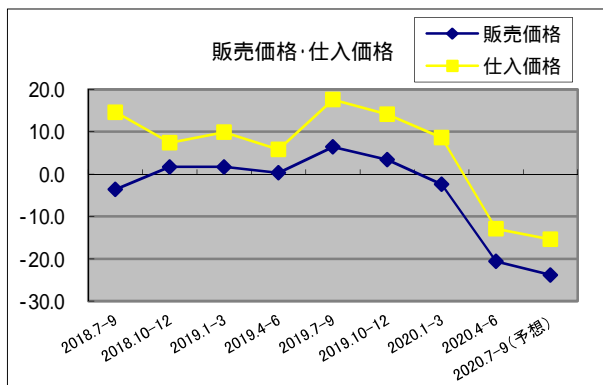
調査先有効回答先数 39先

業況・売上・収益ともに大幅に悪化

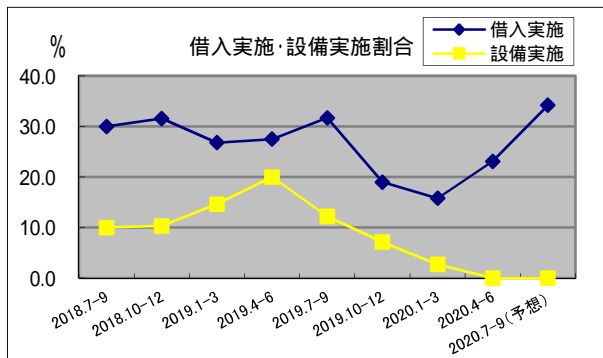
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	-5.4	-7.7	-7.5	-8.1	-7.8	-2.4	-17.5	-54.9	-55.9
売上	-3.5	-5.7	-1.5	-3.8	-5.1	-1.1	-14.2	-61.2	-69.7
収益	-5.6	-1.2	2.8	-1.3	2.6	6.4	-6.2	-58.3	-69.3
販売価格	-3.6	1.7	1.7	0.3	6.4	3.4	-2.4	-20.6	-23.8
仕入価格	14.6	7.4	9.9	5.8	17.6	14.1	8.6	-12.9	-15.4
借入実施	30.0	31.6	26.8	27.5	31.7	19.0	15.8	23.1	34.2
設備実施	10.0	10.3	14.6	20.0	12.2	7.1	2.7	0.0	0.0



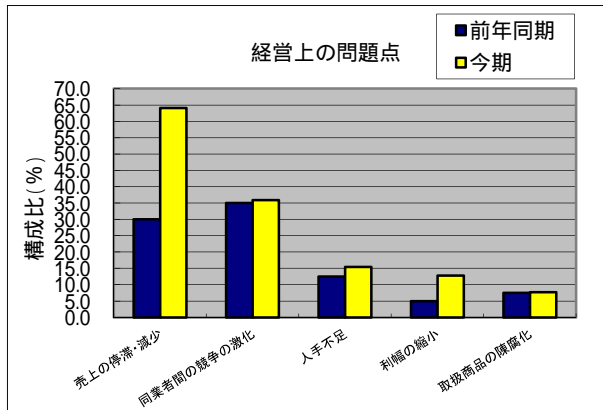
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、54.9と対前年同期比で46.8ポイント悪化、前期比でも37.4ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については、61.2と対前年同期比では57.4ポイント悪化、前期比でも47.0ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については58.3と対前年同期比で57.0ポイント悪化、前期比でも52.1ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに大幅に悪化した。来期は、業況は横這い、売上・収益は引き続き悪化すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、20.6と対前年同期比で20.9ポイント減少し、前期比でも18.2ポイント減少した。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、12.9と対前年同期比で18.7ポイント減少し、前期比でも21.5ポイント減少した。販売価格、仕入価格ともに減少した。来期は、販売価格・仕入価格ともに引き続き減少すると予想している。

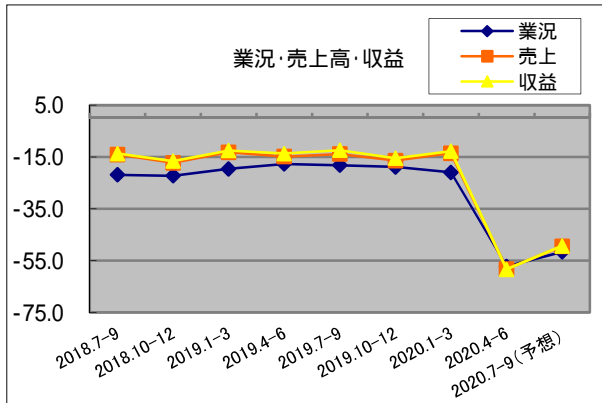


今期の借入実施の割合は、23.1%で、前期比7.3%増加。今期の設備実施の割合については0.0%と、前期比では2.7%の減少となっている。借入実施は増加するも、設備実施は減少した。来期の予想では、借入実施は34.2%にさらに増加、設備実施については0.0%と横ばいにて推移すると予想している。

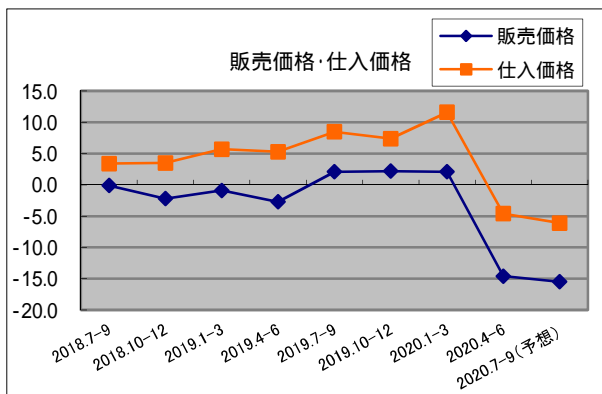


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期30.0%、今期64.1%となっている。第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期35.0%、今期35.9%となっている。第3位は「人手不足」である。前年同期12.5%、今期15.4%となっている。第4位は「利幅の縮小」である。前年同期5.0%、今期12.8%となっている。第5位は「取扱商品の陳腐化」である。前年同期7.5%、今期7.7%となっている。

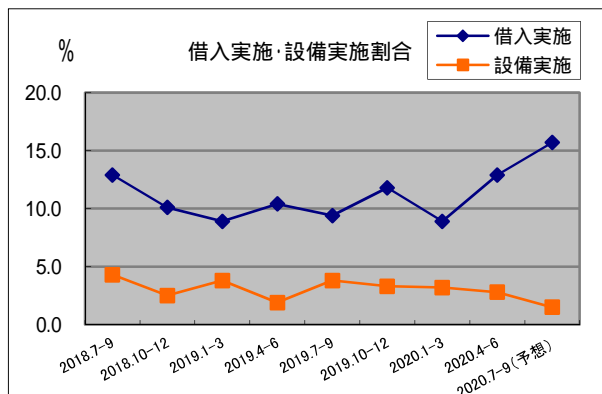
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	-21.9	-22.3	-19.6	-17.7	-18.2	-18.9	-21.0	-57.3	-51.7
売上	-14.1	-17.3	-13.2	-14.9	-13.9	-16.4	-13.6	-58.3	-49.6
収益	-13.7	-16.6	-12.5	-13.7	-12.4	-15.5	-12.8	-58.4	-49.4
販売価格	-0.1	-2.2	-0.9	-2.7	2.1	2.2	2.1	-14.6	-15.5
仕入価格	3.4	3.5	5.7	5.3	8.5	7.4	11.6	-4.6	-6.1
借入実施	12.9	10.1	8.9	10.4	9.4	11.8	8.9	12.9	15.7
設備実施	4.3	2.5	3.8	1.9	3.8	3.3	3.2	2.8	1.5



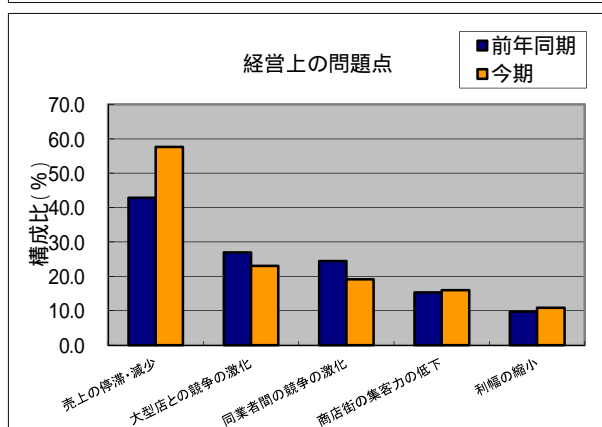
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、57.3で対前年同期から39.6ポイント悪化、前期比でも36.3ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については58.3と前年同期比で43.4ポイント悪化、前期比でも44.7ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については58.4と、対前年同期比で44.7ポイント悪化、前期比でも45.6ポイント悪化した。業況・売上・収益すべてにおいて、大幅に悪化した。来期は、業況・売上・収益ともにやや改善すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、14.6と対前年同期比で11.9ポイント減少、前期比では16.7ポイント減少している。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、4.6と対前年同期比では9.9ポイント減少、前期比でも16.2ポイント減少した。販売価格・仕入価格ともに大幅に減少した。来期については、販売価格、仕入価格ともに微減すると予想している。



今期の借入実施の割合は、12.9%と前期比4.0%増加した。今期の設備実施の割合については、2.8%と前期比0.4%減少した。来期の予想では、借入実施の割合は、15.7%と増加する見込みであるも、設備実施の割合については1.5%と減少すると予想している。



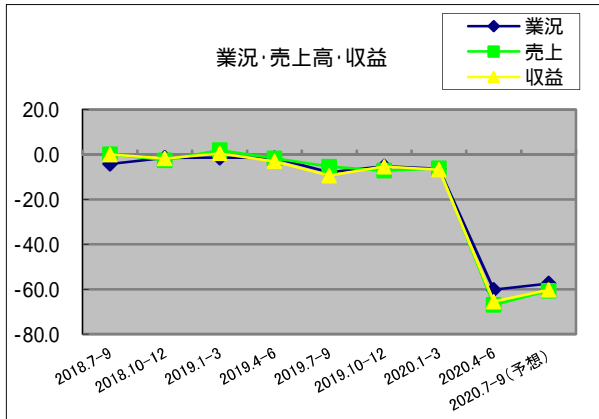
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期42.9%、今期57.7%となっている。第2位は「大型店との競争の激化」である。前年同期27.0%、今期23.1%となっている。第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期24.5%、今期19.2%となっている。第4位は「商店街の集客力の低下」である。前年同期15.3%、今期16.0%となっている。第5位は「利幅の縮小」である。前年同期9.8%、今期10.9%となっている。

# サービス業

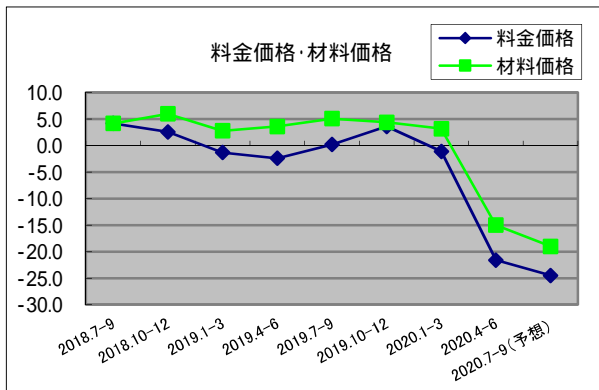
調査先有効回答先数67先

業況・売上・収益ともに大幅に悪化

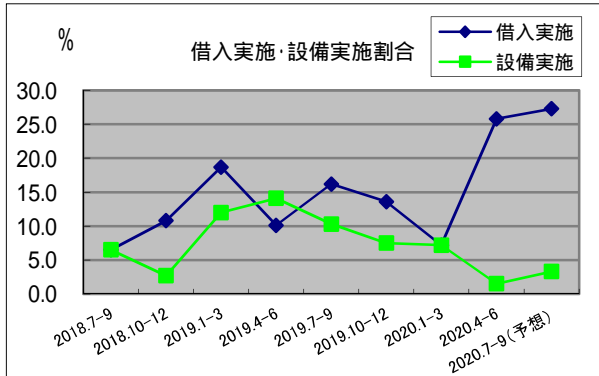
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	-4.2	-1.5	-1.4	-1.6	-7.9	-5.3	-6.4	-60.2	-57.4
売上	0.1	-2.6	1.9	-1.7	-5.4	-7.2	-6.2	-67.0	-60.6
収益	0.0	-1.8	0.5	-3.1	-9.4	-5.4	-6.8	-65.5	-60.3
料金価格	4.2	2.6	-1.3	-2.4	0.2	3.6	-1.1	-21.6	-24.5
材料価格	4.2	6.0	2.8	3.6	5.1	4.4	3.2	-15.0	-19.0
借入実施	6.5	10.8	18.7	10.1	16.2	13.6	7.2	25.8	27.3
設備実施	6.5	2.7	12.0	14.1	10.3	7.5	7.2	1.5	3.3



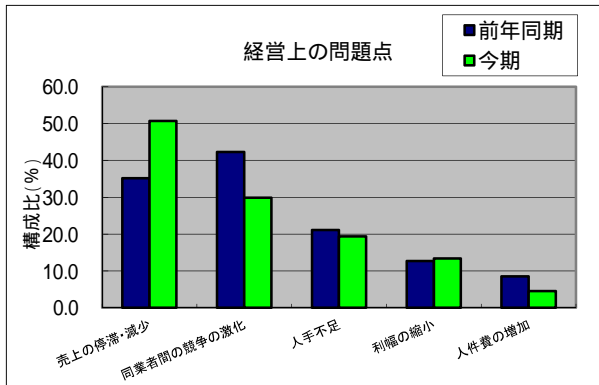
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、60.2と対前年同期比で58.6ポイント悪化、前期比でも53.8ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)は67.0となり、対前年同期比で65.3ポイント悪化、前期比では60.8ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については65.5と、対前年同期比では62.4ポイント悪化し、前期比でも58.7ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに大幅に悪化した。来期については、業況・売上・収益ともに若干持ち直すと予想している。



今期の料金価格DI(上昇 - 下降)は、21.6と対前年同期比では19.2ポイント悪化、前期比では20.5ポイント減少している。今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は、15.0と対前年同期比で18.6ポイント減少、前期比では18.2ポイント減少している。料金価格、材料価格ともに減少した。来期については、料金価格・材料価格ともにさらに減少すると予想している。



今期の借入実施の割合は、25.8%と前期比18.6%増加。今期の設備実施の割合については、1.5%と前期比で5.7%減少している。借入実施割合は大幅に増加する一方、設備実施割合は減少した。来期の予想では、借入実施割合はさらに増加、設備実施はやや増加すると予想している。



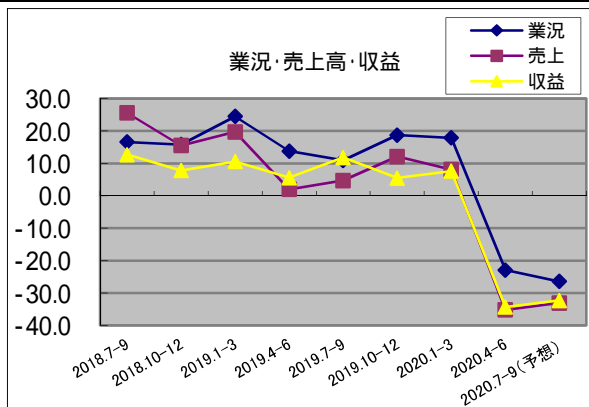
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期35.2%、今期50.7%となっている。第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期42.3%、今期29.9%となっている。第3位は「人手不足」である。前年同期21.1%、今期19.4%となっている。第4位は「利幅の縮小」である。前年同期12.7%、今期13.4%となっている。第5位は「人件費の増加」である。前年同期8.5%、

# 建設業

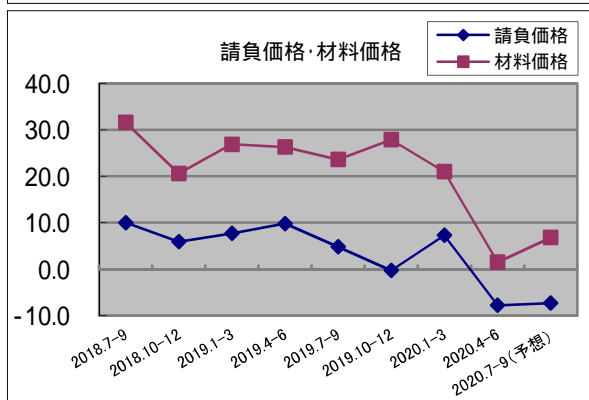
調査先有効回答先数 47先

業況・売上・収益ともに大幅に悪化

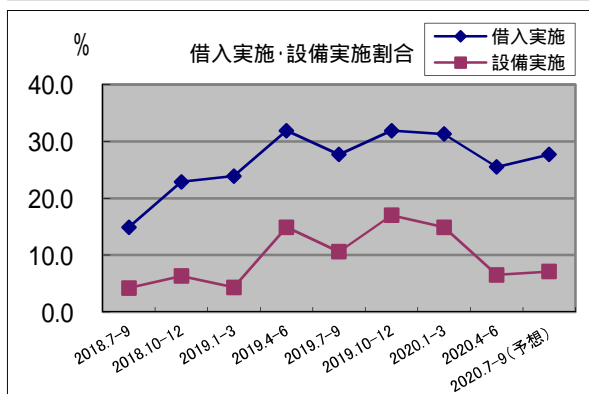
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	16.6	15.8	24.5	13.8	10.9	18.7	17.9	-22.9	-26.4
売上	25.6	15.5	19.7	2.0	4.7	12.1	8.1	-35.2	-33.1
収益	12.7	7.8	10.6	5.6	11.8	5.5	7.6	-34.3	-32.3
請負価格	10.0	5.9	7.7	9.8	4.8	-0.3	7.3	-7.8	-7.3
材料価格	31.6	20.6	26.9	26.3	23.6	27.9	21.0	1.5	6.8
借入実施	14.9	22.9	23.9	31.9	27.7	31.9	31.3	25.5	27.7
設備実施	4.2	6.3	4.3	14.9	10.6	17.0	14.9	6.5	7.1



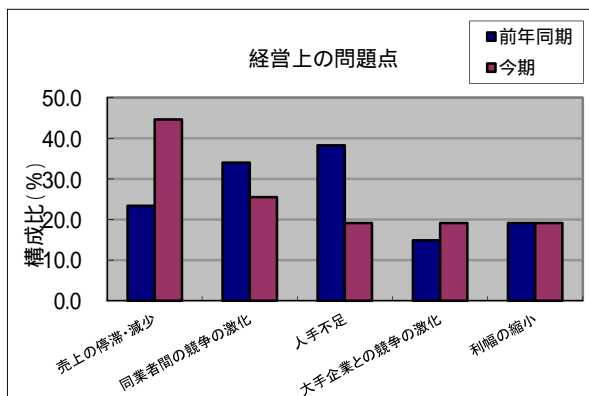
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、22.9と対前年同期比で36.7ポイント悪化し、前期比でも40.8ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については、35.2と対前年同期比で37.2ポイント悪化し、前期比でも43.3ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については、34.3と対前年同期比で39.9ポイント悪化し、前期比では41.9ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに大幅に悪化した。来期においては業況は悪化、売上・収益についてはやや改善すると予想している。



今期の請負価格DI(上昇 - 下降)は、7.8と対前年同期比で17.6ポイント減少し、前期比では15.1ポイント減少した。今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は1.5と対前年同期比で24.8ポイント減少、前期比でも19.5ポイント減少した。請負価格・材料価格ともに減少した。来期については、請負価格はほぼ横這い、材料価格は増加すると予想している。



今期の借入実施の割合は、25.5%と前期比5.8%減少した。今期の設備実施の割合については、6.5%と前期比8.4%減少した。借入実施割合、設備実施割合ともに減少した。来期の予想は、借入実施割合・設備実施割合ともにやや増加すると予想している。



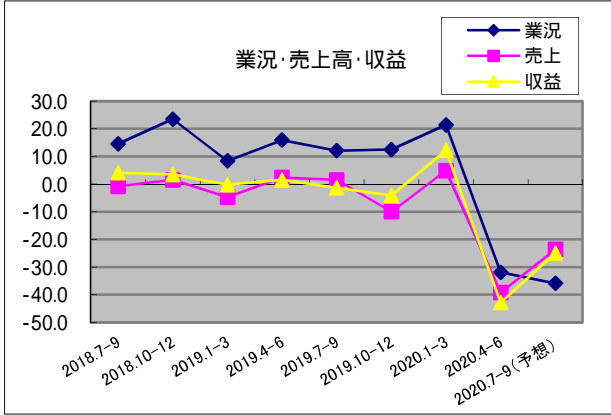
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期23.4%、今期44.7%となっている。第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期34.0%、今期25.5%となっている。第3位は「人手不足」である。前年同期38.3%、今期19.1%となっている。第4位は「大手企業との競争の激化」である。前年同期14.9%、今期19.1%となっている。第5位は「利幅の縮小」である。前年同期19.1%、今期19.1%となっている。

# 不動産業

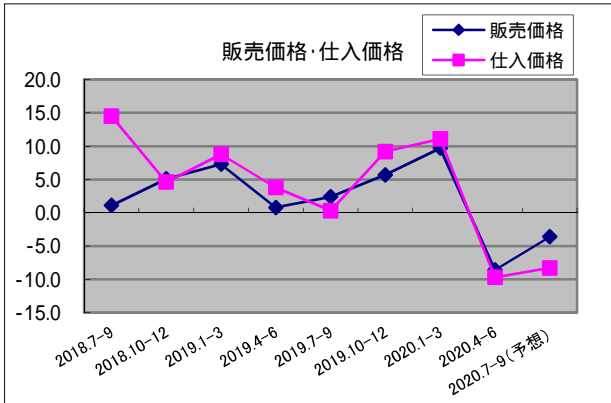
調査先有効回答先数 26先

業況・売上・収益ともに大幅に悪化

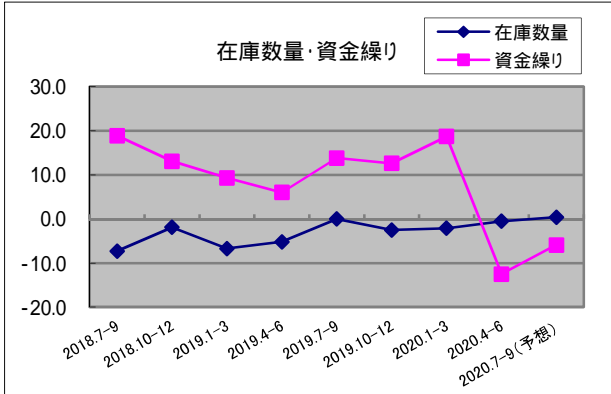
期	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12	2020.1-3	2020.4-6	2020.7-9(予想)
業況	14.6	23.5	8.4	15.9	12.1	12.5	21.4	-31.9	-35.9
売上	-0.8	1.5	-4.7	2.4	1.5	-10.0	4.9	-39.2	-23.6
収益	4.1	3.5	-0.2	1.5	-1.3	-4.1	12.2	-42.8	-24.9
販売価格	1.1	5.1	7.3	0.8	2.4	5.7	9.7	-8.6	-3.6
仕入価格	14.5	4.6	8.8	3.8	0.3	9.2	11.1	-9.7	-8.3
在庫数量	-7.3	-1.9	-6.7	-5.2	0.0	-2.5	-2.1	-0.5	0.4
資金繰り	18.9	13.1	9.3	6.0	13.8	12.6	18.7	-12.5	-5.9



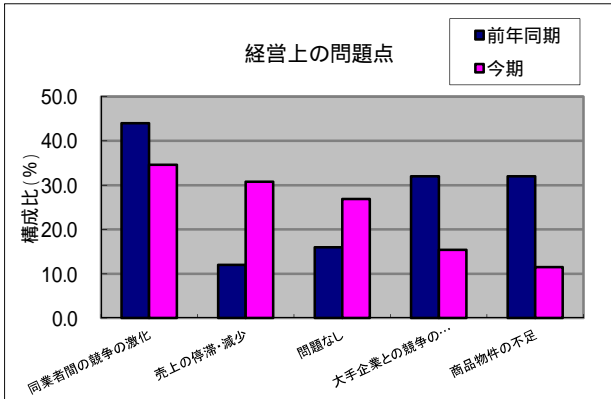
2020年4～6月期の業況DI(良い - 悪い)は、31.9と対前年同期比で47.8ポイント悪化し、前期比でも53.3ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については、-39.2と対前年同期比で41.6ポイントの悪化となり、前期比で44.1ポイントの悪化となった。収益DI(増加 - 減少)については、-42.8と対前年同期比44.3ポイント悪化し、前期比でも55.0ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに大幅に悪化した。来期は業況はやや悪化するも、売上・収益若干は改善すると予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、-8.6と対前年同期比で9.4ポイント減少し、前期比でも18.3ポイント減少した。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、-9.7と対前年同期比で13.5ポイント減少、前期比でも20.8ポイント減少した。販売価格、仕入価格ともに大幅に減少した。来期については、販売価格・仕入価格ともに増加すると予想している。



今期の在庫数量DI(過剰 - 不足)は、-0.5と前期に対して、1.6ポイント増加している。今期の資金繰りDI(楽 - 苦しい)は、-12.5と前期に対して31.2ポイント悪化している。在庫数量は増加するも、資金繰りは大幅に悪化した。来期の予想では、在庫数量は減増、資金繰りは改善すると予想している。



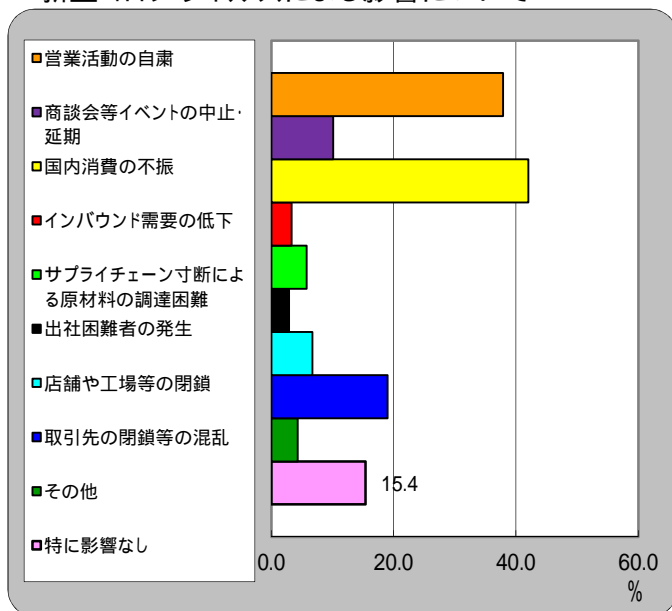
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期44.0%、今期34.6%となっている。第2位は「売上の停滞・減少」である。前年同期12.0%、今期30.8%となっている。第3位は「問題なし」である。前年同期16.0%、今期26.9%となっている。第4位は「大手企業との競争の激化」である。前年同期32.0%、今期15.4%となっている。第5位は「商品物件の不足」である。前年同期32.0%、今期11.5%となっている。



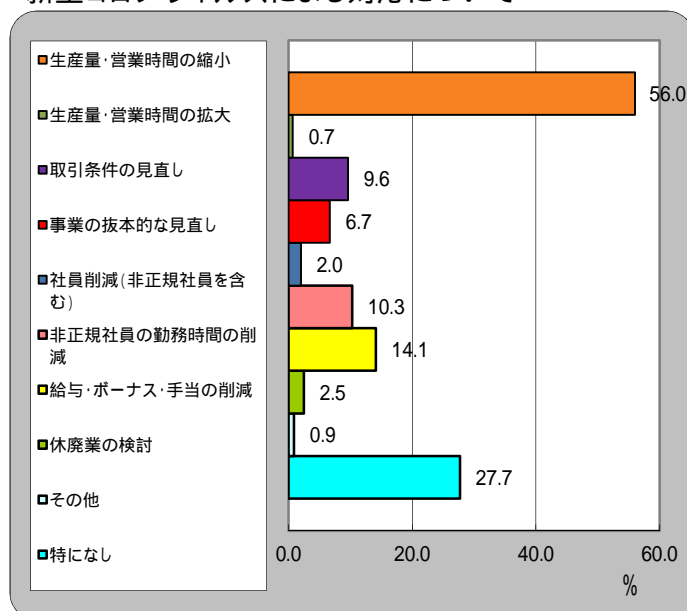
# 特別調査：新型コロナウイルス感染拡大による中小企業への影響について

(アンケートに回答いただいた全業種552先の調査結果です)

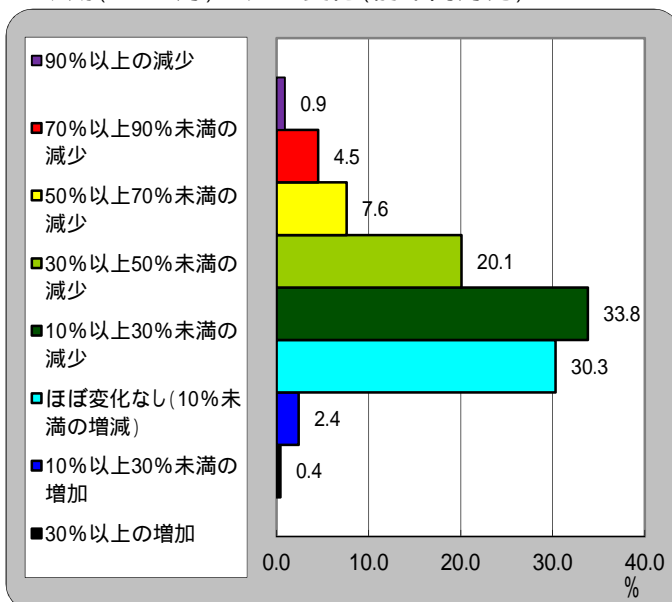
## 新型コロナウイルスによる影響について



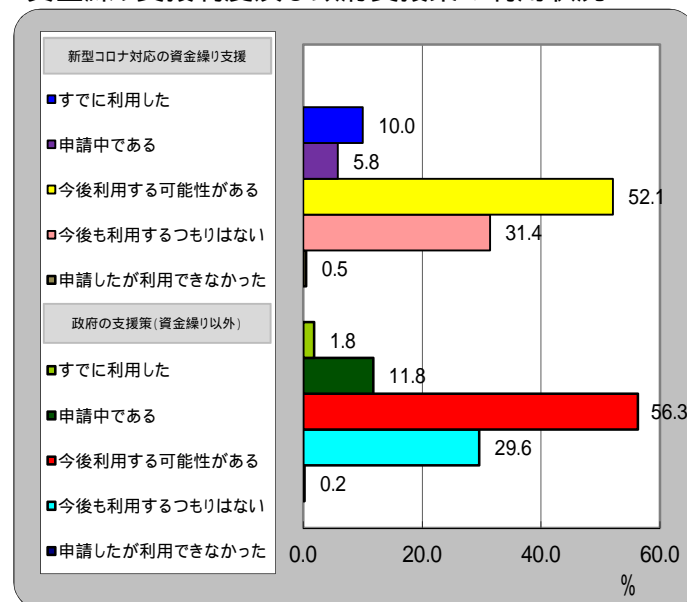
## 新型コロナウイルスによる対応について



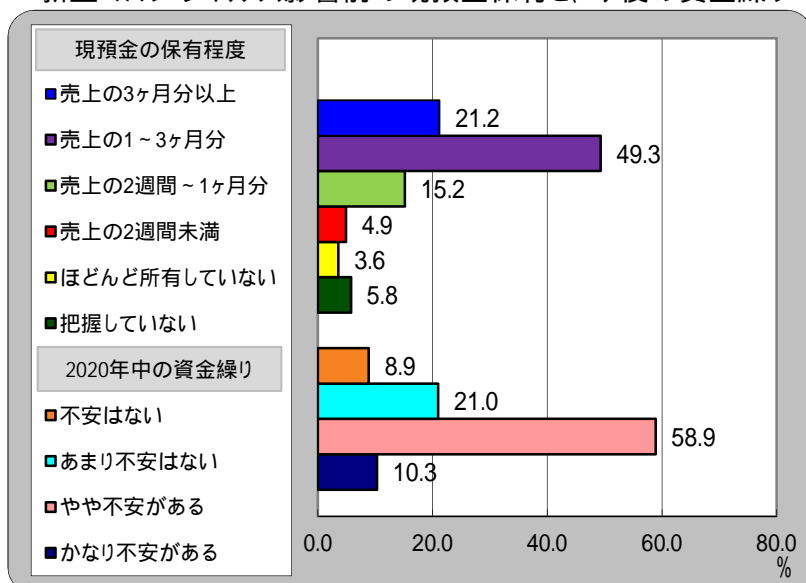
## 今期(4~6月)の売上変化(前年同月比)



## 資金繰り支援制度及び政府支援策の利用状況



## 新型コロナウイルス影響前の現預金保有と、今後の資金繰り



# 各種統計指数

	消費者物価指数 2015年 = 100							
	全国		東京都区部		横浜市		川崎市	
	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比
		%		%		%		%
2019年5月	101.8	0.7	101.6	1.1	101.4	0.8	101.6	0.8
2019年6月	101.6	0.7	101.6	1.1	101.3	0.9	101.6	0.9
2019年7月	101.6	0.5	101.5	0.9	101.3	0.8	101.6	0.5
2019年8月	101.8	0.3	101.8	0.6	101.7	0.6	101.9	0.3
2019年9月	101.9	0.2	101.8	0.4	101.6	0.4	102.0	0.4
2019年10月	102.2	0.2	102.1	0.4	101.7	0.1	102.1	0.3
2019年11月	102.3	0.5	102.2	0.8	101.7	0.5	102.1	0.5
2019年12月	102.3	0.8	102.2	1.0	101.8	0.5	102.2	0.8
2020年1月	102.2	0.7	101.9	0.6	101.5	0.3	102.0	0.3
2020年2月	102.0	0.4	101.8	0.4	101.3	0.0	101.7	0.1
2020年3月	101.9	0.4	101.8	0.4	101.2	-0.1	101.9	0.2
2020年4月	101.9	0.1	102.0	0.2	101.3	-0.4	101.9	0.1
2020年5月	101.8	0.1	102.0	0.4	101.4	0.1	101.9	0.3
2020年6月	101.7	0.1	101.9	0.3	101.2	-0.1	101.7	0.1

(出典：総務省統計局)

		国内企業物価指数 2015年平均 = 100	
		総平均	対前年
2019年5月	確報	101.8	0.7%
2019年6月	確報	101.2	-0.2%
2019年7月	確報	101.1	-0.7%
2019年8月	確報	100.9	-0.9%
2019年9月	確報	100.9	-1.1%
2019年10月	確報	102.0	-0.4%
2019年11月	確報	102.1	0.1%
2019年12月	確報	102.3	0.9%
2020年1月	確報	102.4	1.5%
2020年2月	確報	101.9	0.7%
2020年3月	確報	101.0	-0.5%
2020年4月	確報	99.5	-2.4%
2020年5月	確報	99.0	-2.8%
2020年6月	確報	99.6	-1.6%

(出典：日本銀行)

	景気動向指数DI DIが50%を上回ると拡張基調		
	先行指数(%)	一致指数(%)	遅行指数(%)
2019年4月	54.5	61.1	61.1
2019年5月	9.1	66.7	66.7
2019年6月	18.2	11.1	66.7
2019年7月	0.0	22.2	72.2
2019年8月	18.2	22.2	44.4
2019年9月	27.3	55.6	33.3
2019年10月	18.2	0.0	22.2
2019年11月	36.4	0.0	38.9
2019年12月	54.5	0.0	50.0
2020年1月	36.4	44.4	66.7
2020年2月	45.5	55.6	44.4
2020年3月	18.2	0.0	22.2
2020年4月	20.0	0.0	12.5
2020年5月	11.1	0.0	16.7

(出典：内閣府)

	着工新設住宅戸数(戸)	
	東京都	神奈川県
2019年4月	11,822	8,477
2019年5月	10,455	6,813
2019年6月	11,308	6,699
2019年7月	11,054	6,201
2019年8月	12,501	5,785
2019年9月	12,133	6,694
2019年10月	12,157	6,031
2019年11月	11,753	5,291
2019年12月	11,570	4,946
2020年1月	10,271	4,343
2020年2月	9,535	5,250
2020年3月	12,545	4,988
2020年4月	11,211	5,817
2020年5月	10,143	4,095
2020年6月	11,562	5,260

(出典：国土交通省)

	内閣府月例経済報告 / 基調判断の変化
2019年5月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年6月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年7月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年8月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年9月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年10月	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。
2019年11月	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。
2019年12月	景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2020年1月	景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2020年2月	景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。
2020年3月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。
2020年4月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。
2020年5月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。
2020年6月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるが、下げ止まりつつある。
2020年7月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

(出典：内閣府)

# 店舗一覧

(2020年8月1日現在)

## 東京都内・川崎市・横浜市に64店舗

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
港区	本店営業部	108-0073	港区三田5-21-5	03-3444-1112
	東京港	105-0014	港区芝2-29-10	03-3451-8251
	芝浦	108-0023	港区芝浦3-6-3協栄ビル1階	03-3454-5181
	麻布	106-0045	港区麻布十番4-1-9	03-3451-3710
	麻布十番出張所	106-0045	港区麻布十番2-14-3	03-3456-8550
	日比谷	105-0003	港区西新橋2-8-6 住友不動産 日比谷ビル1階	03-3437-3710
	赤坂	107-0052	港区赤坂3-3-3 住友生命赤坂ビル	03-3585-3710
	六本木	106-0032	港区六本木7-8-8	03-3403-3710
	青山	107-0062	港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1階	03-3400-3710
	目黒区	学芸大学駅前	152-0004	目黒区鷹番3-19-18
中目黒駅前		153-0051	目黒区上目黒1-18-6 NMビル2階	03-3791-3371
目黒		153-0064	目黒区下目黒1-1-11 目黒東洋ビル1階	03-3492-6541
碑文谷		152-0002	目黒区目黒本町6-19-18	03-3793-4511
品川区	荏原	142-0064	品川区旗の台2-9-15	03-3783-3126
	大井	140-0015	品川区西大井2-20-12	03-3777-4401
	戸越公園	142-0041	品川区戸越5-7-18	03-3786-3710
	二葉出張所	142-0043	品川区二葉2-14-9	03-3785-3101
	品川	140-0001	品川区北品川11-22-15	03-3471-4791
	南品川出張所	140-0004	品川区南品川6-6-3	03-3474-4811
	戸越銀座	142-0041	品川区戸越1-15-15	03-3783-6511
	小山出張所	142-0062	品川区小山3-7-12	03-5498-3721
	不動前出張所	141-0031	品川区西五反田5-12-3	03-3779-2751
	立会川	140-0013	品川区南大井4-2-5	03-3764-7101
世田谷区	世田谷	157-0073	世田谷区砧3-2-6	03-3415-1146
	喜多見	157-0067	世田谷区喜多見8-16-10	03-3417-1651
	上野毛	158-0093	世田谷区上野毛1-14-5	03-3703-2111
中央区	東日本橋	103-0001	中央区日本橋小伝馬町14-4	03-3661-9751
	銀座	104-0061	中央区銀座6-14-5 銀座ホウライビル3階	03-5565-0530
新宿区	日本橋	103-0025	中央区日本橋茅場町3-10-9	03-3667-6011
	新宿	162-0052	新宿区戸山2-33-109	03-3204-1271
	四谷	160-0004	新宿区四谷3-5	03-3351-4186
	牛込	162-0825	新宿区神楽坂6-38	03-3260-0241

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
大田区	大森中央	143-0024	大田区中央6-29-4	03-3754-1331
	下丸子	146-0092	大田区下丸子3-8-13	03-3756-5571
	雪谷	145-0065	大田区東雪谷3-31-4	03-3748-6660
	大森	143-0012	大田区大森東4-3-10	03-3761-9191
	美原	143-0012	大田区大森東1-9-14	03-3761-9161
	羽田	144-0047	大田区萩中2-2-1	03-3742-0411
	糀谷駅前出張所	144-0034	大田区西糀谷4-14-14	03-3743-8911
	蒲田	146-0095	大田区多摩川11-26-17	03-3758-1261
	穴守	144-0043	大田区羽田4-20-10	03-3744-4511
	大森南	143-0013	大田区大森南3-17-12	03-3745-3711
	糀谷	144-0034	大田区西糀谷1-15-17	03-3745-2371
	大森西	143-0015	大田区大森西5-9-3	03-3768-3601
	梅屋敷出張所	143-0015	大田区大森西6-15-10	03-3766-4111
	京浜島	143-0003	大田区京浜島2-9-1	03-3790-2611
	東糀谷	144-0033	大田区東糀谷4-1-1	03-3741-7111
	渋谷区	六郷	144-0045	大田区南六郷2-7-23
北馬込		143-0021	大田区北馬込2-47-1	03-3778-2291
渋谷		150-0043	渋谷区道玄坂1-14-6 ヒューマックス渋谷ビル1階	03-3463-2515
広尾白金		150-0013	渋谷区恵比寿3-46-7 シティハウス広尾南1階	03-3444-3710
広尾出張所		150-0012	渋谷区広尾5-19-10 ウイルハギヤビルディング 1階	03-5447-6810
新宿西		151-0071	渋谷区本町3-43-3	03-3376-9111
調布市	恵比寿駅前	150-0013	渋谷区恵比寿1-19-23 東邦ビル4階	03-5423-6120
	調布	182-0035	調布市上石原1-31-16	042-482-6193
稲城市	多摩川	182-0023	調布市染地3-1-253	042-483-4011
	稲城	206-0801	稲城市大丸200	042-377-3811
日野市	矢野口	206-0812	稲城市矢野口1674	042-378-2961
	高幡不動	191-0031	日野市高幡17-7	042-592-7111
川崎市	川崎	210-0837	川崎市川崎区渡田1-1-10	044-366-1234
	鷺沼	216-0004	川崎市宮前区鷺沼3-1-28 メゾン・オークボ1・2階	044-866-8451
	平間	211-0014	川崎市中原区田尻町66-1	044-555-3821
横浜市	高田	223-0065	横浜市港北区高田東4-24-41	045-546-0431
	新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町1738	045-545-2931

編集・発行

営業統括部・コンサルティングセンター

〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1

電話：03(3742)0626

さわやかに まごころをこめて

 さわやか信用金庫

<https://www.sawayaka-shinkin.co.jp/>